

科目名	言語と心理 I (認知心理学) 1～3
授業の目標・ねらい	この講義では、言語の処理過程や学習心理について広く学びます。そして、実際にそれらを教授場面において応用し、より学習者に対して効果的に指導する方法について検討したいと思います。言語を効率よく学習・教授する方法や、学習動機を喚起・維持する方法を身につけ、履修者がよい教員になれることを目標に講義を行います。
授業内容・授業方法	認知心理学は人間が知覚する情報全てを研究対象としている。その情報のひとつが「言語」である。人間はいかに言語を理解し、産出するのか？そのシステムについては脳科学での研究成果が著しい。それを概観し、実際の言語教育場面に当てはめて、より効果的で実践的な教授活動を検討したい。また、学習意欲が生じるプロセスに注目し、達成動機が形成・維持される要因についても考えていく。 1. 「わかる」とは何か？ : 言語は脳でどのように処理されているのか？ 2. 「考える」とは何か？ : 言語学習と思考力について 3. 「学ぶ」とは何か？ : 「記憶」「動機」のメカニズムについて
予習・復習	特になし
使用テキスト	
参考書等	
講師名	朝倉徹
所属	
研究分野	教育学・教育心理学・視聴覚教育
講師紹介	本務校の東海大学では総合教育センターの所長として教育心理学、教育方法学、視聴覚教育の授業を担当。東海大学 Teaching Award 最優秀賞受賞。